

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-167166

(P2007-167166A)

(43) 公開日 平成19年7月5日(2007.7.5)

(51) Int.CI.	F 1	テーマコード (参考)
<b>A61F 13/15</b> (2006.01)	A 41 B 13/02	G 3B200
<b>A61F 13/49</b> (2006.01)	A 41 B 13/02	U 4C098
<b>A61F 13/496</b> (2006.01)	A 41 B 13/02	K
<b>A61F 13/494</b> (2006.01)	A 61 F 5/44	H
<b>A61F 5/44</b> (2006.01)		

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2005-365965 (P2005-365965)	(71) 出願人	000110044 株式会社リブドゥコーポレーション 愛媛県四国中央市金田町半田乙45番地の 2
(22) 出願日	平成17年12月20日 (2005.12.20)	(74) 代理人	100089233 弁理士 吉田 茂明
		(74) 代理人	100088672 弁理士 吉竹 英俊
		(74) 代理人	100088845 弁理士 有田 貴弘
		(72) 発明者	中岡 健次 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号 株式 会社リブドゥコーポレーション内

最終頁に続く

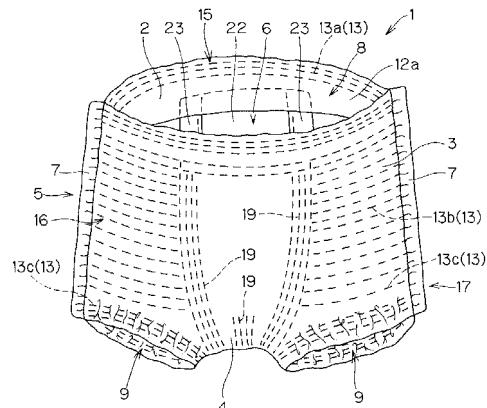
(54) 【発明の名称】使い捨て吸収性パンツ

## (57) 【要約】

【課題】 排泄物等の吸収性能が有効に發揮でき、フィット感にも優れる使い捨て吸収性パンツを提供する。

【解決手段】 使い捨てパンツ1は、後背部2と前腹部3とそれら後背部2と前腹部3間に連なって設けられる股部4とを有するパンツ本体5と、パンツ本体5内に配置されると共に後背部2から股部4および前腹部3にわたる縦長の吸収体6とを備える。吸収体6は、その長手方向両端部のみで前腹部3および後背部2内面側にそれぞれ固着される。パンツ本体5に、吸収体6が配置された領域に対応するパンツ本体5の前腹部3から股部4を通り後背部2に至って、パンツ本体5を縦方向に収縮させるための股部引き上げ用弾性部材19が配設される。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

背部にあてがわれる後背部と腹部にあてがわれる前腹部とそれら後背部と前腹部間に連なって設けられる股部とを有するパンツ本体と、該パンツ本体内に配置されると共に後背部から股部および前腹部にわたる縦長の吸収体とを備えてなる使い捨て吸収性パンツにおいて、

前記吸収体は、その長手方向両端部のみで前記前腹部側および前記後背部側にそれぞれ固着され、

前記パンツ本体に、前記吸収体が配置された領域に対応するパンツ本体の前記前腹部から前記股部を通り前記後背部に至って、パンツ本体を縦方向に収縮させるための股部引き上げ用弹性部材が配設されていることを特徴とする使い捨て吸収性パンツ。10

**【請求項 2】**

請求項 1 に記載の使い捨て吸収性パンツにおいて、

前記パンツ本体に、該パンツ本体の高さ方向略全域にわたって、パンツ本体を横方向に収縮させるための横ギャザー形成用弹性部材が配設されていることを特徴とする使い捨て吸収性パンツ。

**【請求項 3】**

請求項 1 または請求項 2 に記載の使い捨て吸収性パンツにおいて、

前記パンツ本体がトランクス型に形成されていることを特徴とする使い捨て吸収性パンツ。20

**【請求項 4】**

請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載の使い捨て吸収性パンツにおいて、

前記パンツ本体は、前記横ギャザー形成用弹性部材が介在された内層シートと外層シートとを備え、内外シート材間に前記股部引き上げ用弹性部材が介在された縦長の引き上げ用シート体が前記内層シートに全面固着され、この引き上げ用シート体に前記吸収体の長手方向両端部が固着していることを特徴とする使い捨て吸収性パンツ。

**【請求項 5】**

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の使い捨て吸収性パンツにおいて、

前記吸収体は、吸液性を有する吸収体本体部と、該吸収体本体部の肌面側を覆うトップシートと、吸収体本体部の前記肌面側と反対の非肌面側を覆うバックシートとを備え、30

前記吸収体の前記長手方向両端部に、前記吸収体本体部が存在しないシートのみ部が形成され、前記前腹部と前記後背部に固着された領域の下側に前記シートのみ部の領域が存在することを特徴とする使い捨て吸収性パンツ。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、パンツ型の使い捨ておむつ等のような使い捨て吸収性パンツの改良に関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来、この種の使い捨て吸収性パンツとして、例えば、背部にあてがわれる後背部と腹部にあてがわれる前腹部とそれら後背部と前腹部間に連なって設けられる股部とにより、腰周り開口部や脚周り開口部を有するパンツ型に構成されたパンツ本体と、該パンツ本体内において後背部から股部および前腹部にわたって配置された縦長の吸収体とを備えた構造のものがある（例えば、特許文献 1 参照。）。

**【0003】**

そして、パンツ本体は、例えば、互いに重合状に接合され、実質的に不透液性とされた外層シートと内層シートとを備え、後背部や前腹部における腰部周りに対応した外層シートと内層シートとの間には、腰周り用弹性部材が伸張状態で介在され、また、脚部周りに対応した外層シートと内層シートとの間には、脚周り用弹性部材が伸張状態で介在されて4050

おり、腰周り用弹性部材の伸縮作用により腰周りにフィットし、脚周り用弹性部材の伸縮作用により脚周りにフィットするように構成されている。

【0004】

吸收体は、肌面側に位置する透液性の表面シートと、非肌面側に位置する不透液性の裏面シートと、表面シートと裏面シートの間に介在された吸液性コアとを有し、吸液性コアは表面シートと裏面シートの内面に固着された構造とされている。

【0005】

また、吸收体のパンツ本体に対する対向面には、縦方向へ延びる伸縮性弹性部材が伸張状態で取り付けられており、この吸收体は、その長手方向両端部が後背部や前腹部にそれぞれ固着された構造とされている。

【0006】

そして、パンツの着用状態において、吸收体における縦方向の伸縮性弹性部材の収縮作用により、吸收体のパンツ本体に固着された部分を除いた残りの部分が上方に持ち上げられるため、吸收体を着用者の肌に密着させることができ、着用者と吸收体との相互間に生じる隙間からの排泄物等の漏れを防止した構造とされている。

【0007】

【特許文献1】特開2003-62009号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

しかしながら、上記従来構造の使い捨て吸收性パンツによれば、吸收体そのものに伸縮性弹性部材を設けた構造としているため、伸縮性弹性部材の収縮作用により吸收体自体に縮み等が生じて、吸液性コアによる排泄物等の吸收性能の劣化を招くおそれがあった。

【0009】

また、吸收体自体に縮みによるしわ等が生じた状態で、着用者の肌側に密着されるため、ゴワゴワ感が生じてフィット感に劣るという問題があった。

【0010】

そこで、本発明の解決すべき課題は、排泄物等の吸收性能が有効に發揮でき、フィット感にも優れる使い捨て吸收性パンツを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0011】

上記の課題を解決するため、請求項1の発明では、背部にあてがわれる後背部と腹部にあてがわれる前腹部とそれら後背部と前腹部間に連なって設けられる股部とを有するパンツ本体と、該パンツ本体内に配置されると共に後背部から股部および前腹部にわたる縦長の吸收体とを備えてなる使い捨て吸收性パンツにおいて、前記吸收体は、その長手方向両端部のみで前記前腹部側および前記後背部側にそれぞれ固着され、前記パンツ本体に、前記吸收体が配置された領域に対応するパンツ本体の前記前腹部から前記股部を通り前記後背部に至って、パンツ本体を縦方向に収縮させるための股部引き上げ用弹性部材が配設されている。

【0012】

また、請求項2の発明では、請求項1に記載の使い捨て吸收性パンツにおいて、前記パンツ本体に、該パンツ本体の高さ方向略全域にわたって、パンツ本体を横方向に収縮させるための横ギャザー形成用弹性部材が配設されている。

【0013】

さらに、請求項3の発明では、請求項1または請求項2に記載の使い捨て吸收性パンツにおいて、前記パンツ本体がトランクス型に形成されている。

【0014】

また、請求項4の発明では、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の使い捨て吸收性パンツにおいて、前記パンツ本体は、前記横ギャザー形成用弹性部材が介在された内層シートと外層シートとを備え、内外シート材間に前記股部引き上げ用弹性部材が介在され

10

20

30

40

50

た縦長の引き上げ用シート体が前記内層シートに全面固着され、この引き上げ用シート体に前記吸収体の長手方向両端部が固着されている。

#### 【0015】

さらに、請求項5の発明では、請求項1ないし請求項4のいずれかに記載の使い捨て吸収性パンツにおいて、前記吸収体は、吸液性を有する吸収体本体部と、該吸収体本体部の肌面側を覆うトップシートと、吸収体本体部の前記肌面側と反対の非肌面側を覆うバックシートとを備え、前記吸収体の前記長手方向両端部に、前記吸収体本体部が存在しないシートのみ部が形成され、前記前腹部と前記後背部に固着された領域の下側に前記シートのみ部の領域が存在する構造とされている。

#### 【発明の効果】

#### 【0016】

請求項1に記載の発明に係る使い捨て吸収性パンツにおいては、吸収体は、その長手方向両端部のみで前腹部側および後背部側にそれぞれ固着され、パンツ本体に、吸収体が配置された領域に対応するパンツ本体の前腹部から股部を通り後背部に至って、パンツ本体を縦方向に収縮させるための股部引き上げ用弹性部材が配設されている構造とされているため、股部引き上げ用弹性部材の収縮作用によりパンツ本体の股部が引き上げられた際ににおいて、吸収体自体はその収縮作用の影響をほとんど受けず、従って従来のような縮みによるしわ等を生じずに着用者の肌側に押し上げて当てることができ、フィット感に優れる利点がある。

#### 【0017】

そして、吸収体自体に縮み等が生じないため、排泄物等の吸収性能の劣化が防止でき、本来の吸収性能が有效地に發揮できる利点もある。

#### 【0018】

また、請求項2に記載の発明によれば、パンツ本体に、該パンツ本体の高さ方向略全域にわたって、パンツ本体を横方向に収縮させるための横ギャザー形成用弹性部材が配設されている構造とされているため、パンツ本体全体にわたって横方向の収縮作用によるフィット性の向上が図れ、脚の細い着用者や脚の太い着用者のいずれにも対応できる利点がある。

#### 【0019】

さらに、請求項3に記載の発明によれば、パンツ本体がトランクス型に形成された構造としているため、パンツ本体全体にわたる横方向の収縮作用がより広範囲にわたって確保でき、より一層のフィット性向上が図れ、脚の細い着用者や脚の太い着用者のいずれにもより有效地に対応できる利点がある。

#### 【0020】

また、請求項4に記載の発明によれば、パンツ本体は、横ギャザー形成用弹性部材が介在された内層シートと外層シートとを備え、内外シート材間に股部引き上げ用弹性部材が介在された縦長の引き上げ用シート体が前記内層シートに全面固着され、この引き上げ用シート体に前記吸収体の長手方向両端部が固着された構造としており、横ギャザー形成用弹性部材が介在される部分と、股部引き上げ用弹性部材が介在される部分とを別部材で形成し、固着する構造とされているため、容易に製造できる利点がある。

#### 【0021】

さらに、請求項5に記載の発明によれば、吸収体は、吸液性を有する吸収体本体部と、該吸収体本体部の肌面側を覆うトップシートと、吸収体本体部の前記肌面側と反対の非肌面側を覆うバックシートとを備え、吸収体の長手方向両端部に、吸収体本体部が存在しないシートのみ部が形成され、前腹部と後背部に固着された領域の下側にシートのみ部の領域が存在する構造としているため、股部引き上げ用弹性部材の収縮作用によりパンツ本体の股部が引き上げられ、吸収体が持ち上げられて着用者の肌側に押し当たられる際、吸収体本体部が存在する部分よりも剛性の弱いシートのみ部で吸収体の持ち上げ移動を有效地に吸収でき、吸収体本体部が存在する部分を着用者の肌側に均一的に押し当てることができてフィット感のより向上が図れる利点がある。

10

20

30

40

50

【発明を実施するための最良の形態】

【0022】

<第1の実施形態>

以下、本発明の第1の実施形態を図面に基づいて説明すると、図1ないし図5に示されるように、使い捨て吸收性パンツの一例としての使い捨てパンツ1は、従来同様、着用者28の背部にあてがわれる後背部2と、腹部にあてがわれる前腹部3と、それら後背部2と前腹部3間に連なって設けられ、着用者28の股部にあてがわれる股部4とを有するパンツ本体5と、パンツ本体5内にホットメルト接着剤等により貼着されて配置されると共に、後背部2から股部4および前腹部3にわたる縦長の吸收体6とを備えた構造とされている。

10

【0023】

そして、二つ折り状態とされたパンツ本体5における後背部2の両側端部2aと前腹部3の両側端部3aとが、超音波溶着等により互いに接合されて接合部7が形成され、ここに、図1に示されるように、後背部2と前腹部3とにより周方向環状の腰周り開口部8が形成されると共に、股部4の両側に脚周り開口部9がそれぞれ形成され、本実施形態ではパンツ本体5がいわゆるトランクス型に形成された構造とされている。

【0024】

前記パンツ本体5は、図3ないし図5に示されるように、ホットメルト接着剤等により互いに重合状に接合された内層シート11と外層シート12とを備え、これら内層シート11と外層シート12との相互間におけるパンツ本体5の高さ方向略全域にわたって、パンツ本体5を横方向に収縮させるための横ギャザー形成用弹性部材13が、高さ方向に適宜間隔を有して多数本、伸張状態で配設された構造とされている。

20

【0025】

即ち、パンツ本体5における腰部周りや腹部周りさらには脚部周りの高さ方向略全域にわたる内層シート11と外層シート12との相互間には、横ギャザー形成用弹性部材13としてのウエストギャザー形成用弹性部材13aやボディギャザー形成用弹性部材13bやレッグギャザー形成用弹性部材13cがそれぞれ伸張状態で介在されており、ウエストギャザー形成用弹性部材13aやボディギャザー形成用弹性部材13bやレッグギャザー形成用弹性部材13cの伸縮作用により、腰周りや腹周りや脚周りに柔軟にフィットするウエストギャザー部15やボディギャザー部16やレッグギャザー部17が構成されている。

30

【0026】

なお、本実施形態においては、外層シート12の両端部が内層シート11側に折り返された折返し片部12aを備え、ウエストギャザー形成用弹性部材13aは、外層シート12と折返し片部12aとの相互間でパンツ本体5における幅方向全体にわたって配設された構造とされている。また、ボディギャザー形成用弹性部材13bやレッグギャザー形成用弹性部材13cは、パンツ本体5における吸收体6が配置された領域を除いた部分に配設されており、レッグギャザー形成用弹性部材13cの一部においては、図2に示されるように、脚周り開口部9を構成するための切込み部9aに沿って配設された構造とされている。

40

【0027】

さらに、吸收体6が配置された領域に対応するパンツ本体5の内層シート11と外層シート12との相互間には、前腹部3から股部4を通り後背部2に至る適宜本数の股部引き上げ用弹性部材19が伸張状態で介在されており、股部引き上げ用弹性部材19の収縮作用により、パンツ本体5が縦方向に収縮されてパンツ本体5の股部4を引き上げる構造とされている。この際、本実施形態においては、両側部に配設された各股部引き上げ用弹性部材19は、吸收体6が配置された領域の略全長にわたって配設されているのに対し、中央部に配設された各股部引き上げ用弹性部材19は短めに配設された構造とされている。

【0028】

そして、内層シート11や外層シート12は、スパンボンド不織布等の撥水性不織布や

50

親水性不織布等により形成されている。また、各弹性部材 13a, 13b, 13c, 19 としては、通常使い捨ておむつに用いられる弹性伸縮材料（ポリウレタン糸、ポリウレタンフィルム、天然ゴム等）が用いられ、伸張状態でホットメルト接着剤、熱溶着、超音波溶着等の貼着手段によりそれぞれの所定部位に貼着される構造とされている。

#### 【0029】

前記吸收体 6 は、図 3 ないし図 5 に示されるように、吸液性を有する吸收体本体部としての吸液マット体 20 と、該吸液マット体 20 の外面側、即ち非肌面側（図では下側）を包むように覆うバックシート 21 と、吸液マット体 20 の肌面側（図では上側）を包むように覆うトップシート 22 を備え、所定形状に成形された構造とされている。

#### 【0030】

そして、トップシート 22 は透液性の不織布により構成され、バックシート 21 は不透液性や撥水性を有する不織布や不透液性のプラスチックフィルム等により構成されている。また、吸液マット体 20 は、例えば、粉碎したパルプ纖維やセルロース纖維等の親水性纖維集合層に粒状の高分子吸收体を混合した塊をティッシュペーパー等の紙または透液性不織布等の被覆シートで包み、所定形状に成形された構造とされている。

#### 【0031】

さらに、吸收体 6 における肌面側の幅方向両側部には、その長手方向に沿ってサイドシート 23 がそれぞれホットメルト接着剤等により接合されており、各サイドシート 23 の内側端縁部にはそれぞれ立体ギャザー形成用弹性部材 24 が伸張状態で介在されている。そして、これら立体ギャザー形成用弹性部材 24 の伸縮作用により、着用者の肌側に柔軟に押し付けられるべく内向きに起立する立体ギャザーパー 25 が構成されている。

#### 【0032】

前記サイドシート 23 は不透液性の不織布等で構成され、立体ギャザー形成用弹性部材 24 は前記弹性部材 13a, 13b, 13c, 19 と同様の伸縮性材料が用いられ、同様に、ホットメルト接着剤等により所定部位に貼着される構造とされている。

#### 【0033】

このように構成された吸收体 6 は、その長手方向両端部のみでパンツ本体 5 内面側における後背部 2 や前腹部 3 に、ホットメルト接着剤 26 等により固着された構成とされている。従って、固着された部分以外においては、吸收体 6 とパンツ本体 5 との相互間には隙間が生じる構造となっており、パンツ本体 5 と吸收体 6 とは相対的に移動可能とされている。

#### 【0034】

また、図 2 や図 5 に示されるように、外層シート 12 の両端部はそれぞれ折り返されて内層シート 11 の端部上面側に重合状に接合された構造とされており、この外層シート 12 の各折返し片部 12a で、貼着された吸收体 6 の両端縁部が直接肌に当たらないように覆われた構造とされている。

#### 【0035】

本実施形態は以上のように構成されており、この使い捨てパンツ 1 を着用した状態においては、各ウエストギャザー形成用弹性部材 13a、各ボディギャザー形成用弹性部材 13b、各レッグギャザー形成用弹性部材 13c、各立体ギャザー形成用弹性部材 24 の伸縮作用により、着用者 28 の腰周り、腹周り、脚周りの各部肌側へ良好に密着する構造とされている。

#### 【0036】

そして特に、パンツ本体 5 における吸收体 6 が配置された領域に対応して、各股部引き上げ用弹性部材 19 が伸張状態で配設されているため、これら股部引き上げ用弹性部材 19 の収縮作用により、パンツ本体 5 における股部 4 の引き上げ作用が生じ、この股部 4 の引き上げ作用により内側に配置されている吸收体 6 が押し上げられて着用者 28 の肌側に押し当てられる。

#### 【0037】

また、中央部に配設された各股部引き上げ用弹性部材 19 が、その左右両側部の他の股

10

20

30

40

50

部引き上げ用弹性部材 19 より短めに配設された構造となっているので、吸收体 6 を押し上げる力は強められる構成となっている。

#### 【0038】

この際、吸收体 6 は長手方向両端部のみでパンツ本体 5 に固着されており、その他の部分においては、吸收体 6 とパンツ本体 5 とがいわゆる縁が切られた構造となっているため、股部引き上げ用弹性部材 19 の収縮作用によりパンツ本体 5 に縮みによるしわが生じても、吸收体 6 自体はその収縮作用の影響をほとんど受けず、従って、従来のような吸收体自体に弹性部材を配設することによる縮みやしわ等を何ら生じずに、着用者 28 の肌側に押し上げて当てる事ができるため、ゴワ付き感がなく、フィット感に優れ、漏れ防止が図れると共に良好な着用感が得られるという利点がある。

#### 【0039】

また、吸收体 6 自体に縮み等が何ら生じないため、吸液マット体 20 による排泄物等の吸收領域も良好に確保でき、ここに排泄物等の吸收性能の劣化が防止でき、吸收体 6 本来の吸收性能が有効に発揮できるという利点がある。

#### 【0040】

さらに、パンツ本体 5 の高さ方向略全域にわたって、パンツ本体 5 を横方向に収縮させるためのウエストギャザー形成用弹性部材 13a、ボディギャザー形成用弹性部材 13b、レッグギャザー形成用弹性部材 13c からなる横ギャザー形成用弹性部材 13 が配設されているため、パンツ本体 5 全体にわたって横方向の収縮作用によるフィット性の向上が図れ、従来のような脚周り開口部の周囲に沿ってのみ弹性部材が配置されている構造のものと比較して、脚の細い着用者 28 や脚の太い着用者 28 のいずれにも対応でき、しかもパンツ本体 5 がトランクス型に形成されていることから、パンツ本体 5 全体にわたる横方向の収縮作用がより広範囲にわたって確保でき、より一層のフィット性向上が図れて、着用者 28 の脚の細い太いにかかわらず、より有効に対応できると共に、漏れ防止も有効に図れる利点がある。

#### 【0041】

また、パンツ本体 5 と吸收体 6 とは股部 4 付近で相対移動可能とされていても、パンツ本体 5 がトランクス型とされているため、脚周り開口部 9 からはみ出すおそれもなく、見栄えもよい。従って、交換式の尿取りパットを使用する場合にも、脚周り開口部 9 からのはみ出しが有効に防止できる。

#### 【0042】

<第2の実施形態>

図 6 および図 7 は第2の実施形態を示しており、前記第1の実施形態と同様構成部分は同一符号を付し、その説明を省略する。

#### 【0043】

即ち、本実施形態においては、パンツ本体 5 が、第1の実施形態のようにウエストギャザー形成用弹性部材 13a、ボディギャザー形成用弹性部材 13b、レッグギャザー形成用弹性部材 13c からなる横ギャザー形成用弹性部材 13 が介在されて互いに接合された内層シート 11 と外層シート 12 とからなるトランクス型のパンツ本体主部 5a と、パンツ本体主部 5a における吸收体 6 の配置領域に対応してホットメルト接着剤等により全面的に接合された引き上げ用シート体 5b とを備えてなる構造とされている。

#### 【0044】

この引き上げ用シート体 5b は、図 2 に示されるような展開状態で、吸收体 6 の平面視と同じ領域を有する縦長矩形の不織布等からなる内外シート材としての内側シート材 30 と外側シート材 31 とを備え、これら内側シート材 30 と外側シート材 31 との相互間に、第1の実施形態と同様に配置された適宜本数の股部引き上げ用弹性部材 19 が介在された状態で、ホットメルト接着剤等により接合された構造とされている。従って、股部引き上げ用弹性部材 19 の収縮作用により、第1の実施形態と同様、パンツ本体 5 の股部 4 を引き上げる作用を発揮する構造とされている。

#### 【0045】

10

20

30

40

50

そして、この引き上げ用シート体5bにおける内側シート材30の長手方向両端部に、吸收体6の長手方向両端部がホットメルト接着剤33等により接着された構造とされている。また、その他の構造は第1の実施形態と同様に構成されている。

#### 【0046】

従って、本実施形態においても第1の実施形態と同様の効果を奏すると共に、横ギャザー形成用弹性部材13が介在されるパンツ本体主部5aと、股部引き上げ用弹性部材19が介在される引き上げ用シート体5bとを別部材で構成し、その後固着する構造としているため、それぞれの構造の簡素化が図れ、パンツ本体主部5aや引き上げ用シート体5bを容易に製造できる利点がある。

#### 【0047】

また、吸收体6に予め、引き上げ用シート体5bを固着した状態で、引き上げ用シート体5bの外側シート材31を展開状態のパンツ本体主部5aの内層シート11に全面固着して、使い捨てパンツ1を製造することができ、製造手順に幅ができるという利点がある。

#### 【0048】

<第3の実施形態>

図8は第3の実施形態を示しており、前記第1の実施形態と同様構成部分は同一符号を付し、その説明を省略する。

#### 【0049】

即ち、本実施形態においては、吸液マット体20の肌面側を覆うトップシート22と反対の非肌面側を覆うバックシート21との長手方向両端部に、吸液マット体20が存在しないトップシート22とバックシート21とが重合状に接合されたシートのみ部35を長めに形成した構造とされている。

#### 【0050】

そして、吸收体6の長手方向両端部におけるシートのみ部35が、ホットメルト接着剤26等により前腹部3や後背部2に固着された状態において、その固着された領域の下側にもシートのみ部35の領域が存在する構造とされている。また、その他の構造は第1の実施形態と同様に構成されている。

#### 【0051】

従って、本実施形態においても第1の実施形態と同様の効果を奏すると共に、パンツ本体5に配設された股部引き上げ用弹性部材19の収縮作用によりパンツ本体5の股部4が引き上げられ、この股部4の引き上げ作用により吸收体6が持ち上げられて着用者28の肌側に押し当てられる際、吸液マット体20が存在する部分よりも剛性の弱いシートのみ部35で吸收体6の持ち上げ移動を有効に吸収でき、吸液マット体20が存在する部分での持ち上げによるしわ等の発生が有効に防止でき、ここに、吸液マット体20が存在する部分を着用者28の肌側に均一的に押し当てることができてフィット感のより向上が図れる利点がある。

#### 【0052】

<その他の構成>

なお、上記各実施形態においては、パンツ本体5における吸收体6の配置された領域に対応した部分には、ボディギャザー形成用弹性部材13bやレッグギャザー形成用弹性部材13cの横ギャザー形成用弹性部材13が存在しない構造を示しているが、幅方向全体にわたって横ギャザー形成用弹性部材13を配設する構造であってもよい。

#### 【0053】

また、使い捨てパンツ1としてトランクス型のものを示しているが、いわゆるブリーフ型のものであってもよい。

#### 【0054】

さらに、パンツ本体5に配設される横ギャザー形成用弹性部材13や股部引き上げ用弹性部材19の長さや本数等は、何ら各実施形態に限られず、必要に応じて適宜決定すればよい。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0055】

【図1】本発明の第1の実施形態に係る使い捨てパンツの斜視図である。

【図2】同展開図である。

【図3】図2のIII-III線断面矢視図である。

【図4】図2のIV-IV線断面矢視図である。

【図5】断面側面図である。

【図6】第2の実施形態に係る使い捨てパンツの股部の断面図である。

【図7】図6のVII-VII線断面矢視図である。

【図8】第3の実施形態に係る使い捨てパンツの断面側面図である。

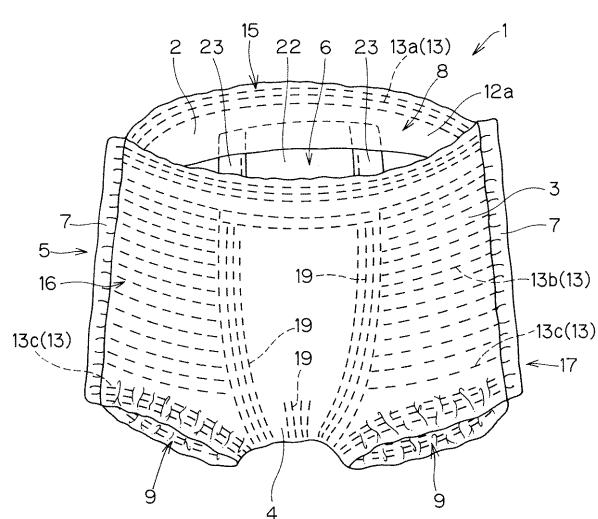
10

## 【符号の説明】

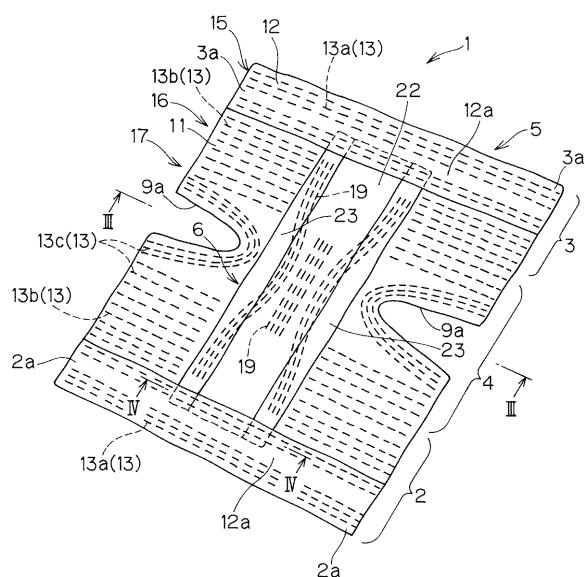
## 【0056】

1 使い捨てパンツ、2 後背部、3 前腹部、4 股部、5 パンツ本体、5a パンツ本体主部、5b 引き上げ用シート体、6 吸収体、11 内層シート、12 外層シート、13 横ギャザー形成用弹性部材、19 股部引き上げ用弹性部材、20 吸液マット体、21 バックシート、22 トップシート、23 サイドシート、26 ホットメルト接着剤、28 着用者、30 内側シート材、31 外側シート材、33 ホットメルト接着剤、35 シートのみ部。

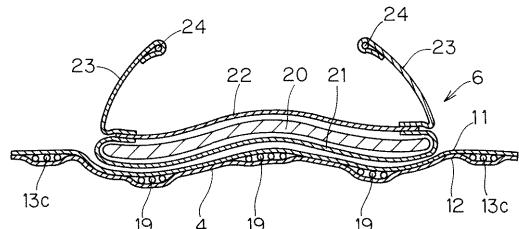
【図1】



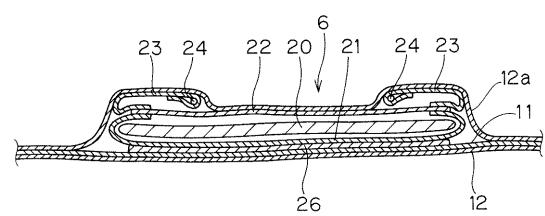
【図2】



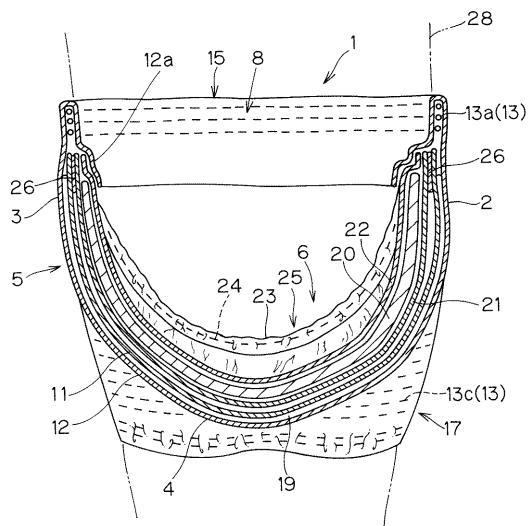
【図3】



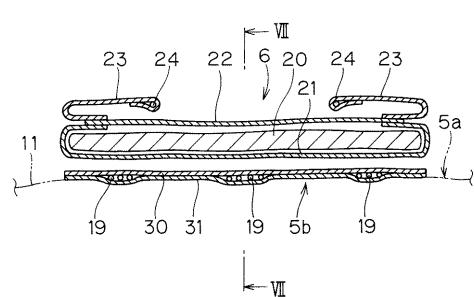
【図4】



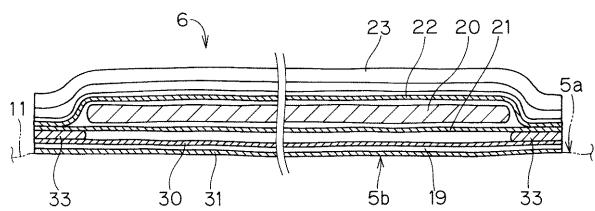
【図5】



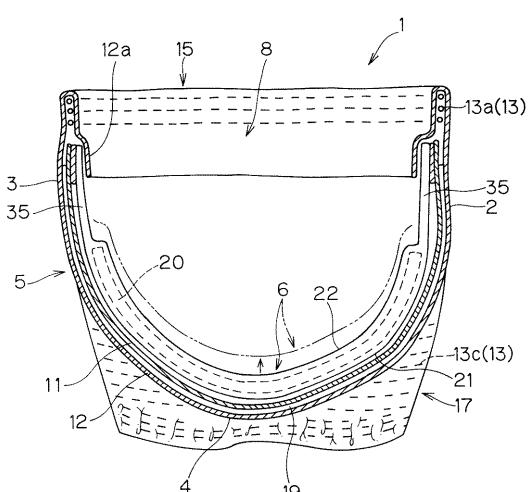
【図6】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

F ターム(参考) 3B200 AA01 AA11 AA12 BA12 CA03 CA06 CA08 CA14 CB03 DA04  
DC09  
4C098 AA09 CC07 CC10 CC14 CC15 CE05